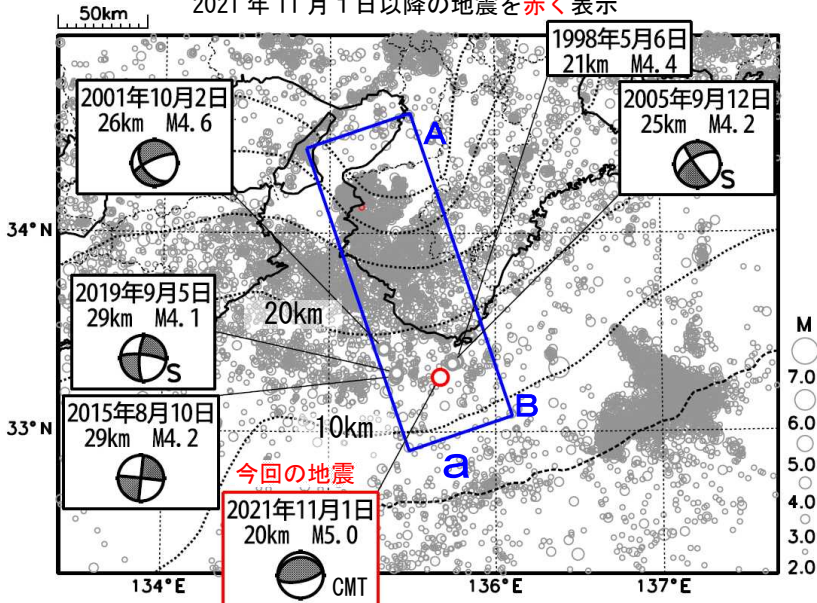


11月1日 和歌山県南方沖の地震

震央分布図

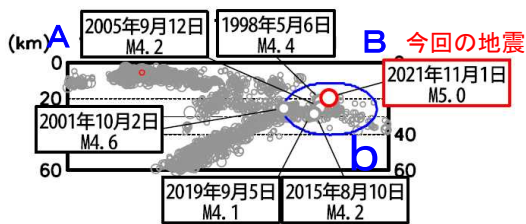
(1997年10月1日～2021年11月4日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)

2021年11月1日以降の地震を赤く表示



※ 発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

領域a内の断面図 (A-B投影)

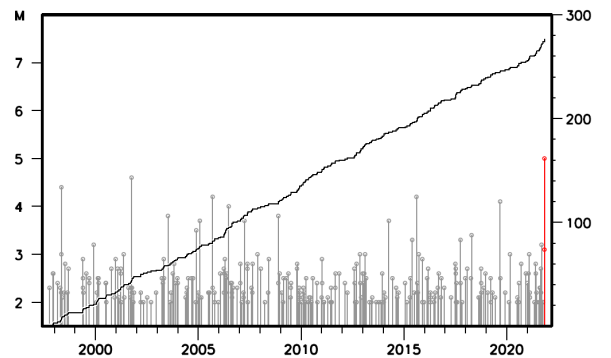


2021年11月1日05時35分に和歌山県南方沖の深さ20kmでM5.0の地震 (最大震度2) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生している。2001年10月2日にはM4.6の地震 (最大震度2) が発生した。

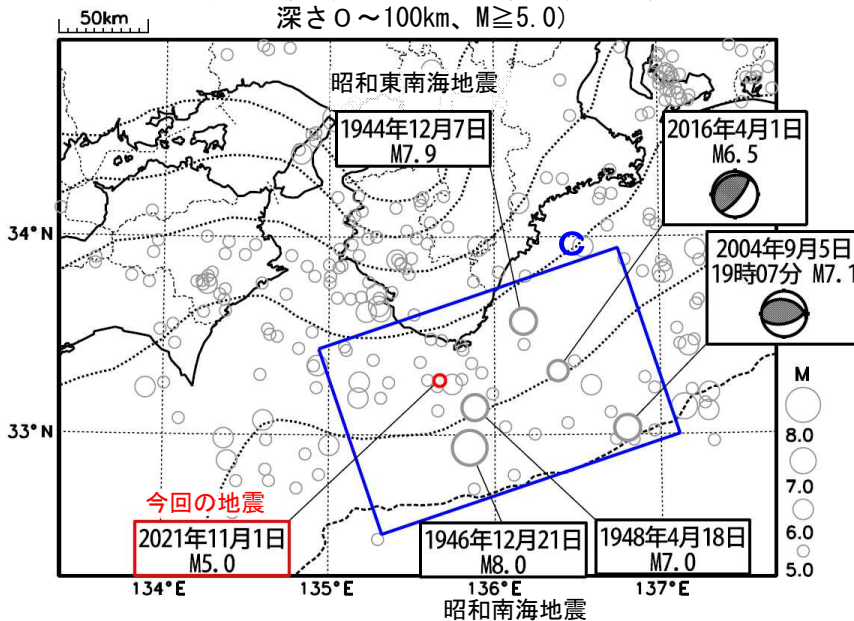
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1944年の昭和東南海地震 (M7.9) や1946年の昭和南海地震 (M8.0) が発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図

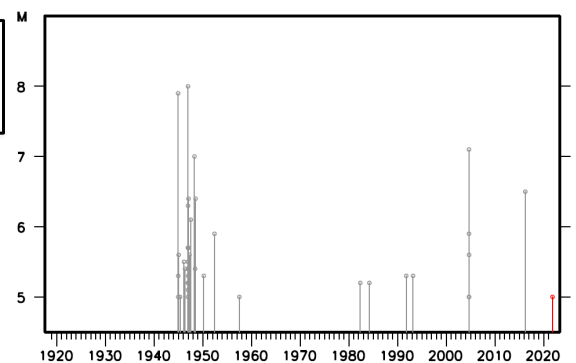


震央分布図

(1919年1月1日～2021年11月4日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



※ 震央分布図中の黒色の点線は、Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。